

# 神堀 忍博士著作目録

## 一、校本

校本萬葉集一 首卷附卷 修訂・佐竹昭広・木下正俊・神堀忍・

工藤力男

昭和54年5月29日新增補版発行 岩波書店 A5判 672頁

校本萬葉集二 卷第一 卷第二 修訂・佐竹昭広・木下正俊・神堀

忍・工藤力男

昭和54年6月29日新增補版発行 岩波書店 A5判 552頁

校本萬葉集三 卷第三 卷第四 修訂・佐竹昭広・木下正俊・神堀

忍・工藤力男

昭和54年7月27日新增補版発行 岩波書店 A5判 672頁

校本萬葉集四 卷第五 卷第六 修訂・佐竹昭広・木下正俊・神堀

忍・工藤力男

昭和54年8月29日新增補版発行 岩波書店 A5判 488頁

校本萬葉集五 卷第七 卷第八 修訂・佐竹昭広・木下正俊・神堀

忍・工藤力男

昭和54年9月28日新增補版発行 岩波書店 A5判 532頁

校本萬葉集六 卷第九 卷第十 修訂・佐竹昭広・木下正俊・神堀

忍・工藤力男

昭和54年10月29日新增補版発行 岩波書店 A5判 584頁

校本萬葉集七 自卷第十一 至卷第十三 修訂・佐竹昭広・木下正

俊・神堀忍・工藤力男

昭和54年11月29日新增補版発行 岩波書店 A5判 738頁

校本萬葉集八 自卷第十四 至卷第十七 修訂・佐竹昭広・木下正

俊・神堀忍・工藤力男

昭和54年12月21日新增補版発行 岩波書店 A5判 664頁

校本萬葉集九 自卷第十八 至卷第二十 修訂・佐竹昭広・木下正

俊・神堀忍・工藤力男

昭和55年1月29日新增補版発行 岩波書店 A5判 662頁

校本萬葉集十 増補 修訂・佐竹昭広・木下正俊・神堀忍・工藤力

男

昭和55年2月28日新增補版発行 岩波書店 A5判 417頁

校本萬葉集十一 新增補 自卷第一至卷第三 編・佐竹昭広・木下

正俊・神堀忍・工藤力男

昭和55年9月29日発行 岩波書店 A5判 485頁

校本萬葉集十二 新增補 卷第四卷第五 編・佐竹昭広・木下正俊・

神堀忍・工藤力男

昭和55年12月17日発行 岩波書店 A5判 294頁

校本萬葉集十三 新增補 自卷第六至卷第八 編・佐竹昭広・木下

正俊・神堀忍・工藤力男

昭和56年3月30日発行 岩波書店 A5判 419頁

校本萬葉集十四 新增補 自卷第九至卷第十一 編・佐竹昭広・木

下正俊・神堀忍・工藤力男

昭和56年6月29日発行 岩波書店 A5判 456頁

校本萬葉集十五 新增補 自卷第十二至卷第十六 編・佐竹昭広・

木下正俊・神堀忍・工藤力男

昭和56年9月29日発行 岩波書店 A5判 466頁

校本萬葉集十六 新增補 自卷第十七至卷第二十 編・佐竹昭広・

木下正俊・神堀忍・工藤力男

昭和56年12月22日発行 岩波書店 A5判 465頁

校本萬葉集十七 諸本輯影 補遺 編・佐竹昭広・木下正俊・神堀

忍・工藤力男

昭和57年8月3日新增補版発行 岩波書店 A5判 619頁

校本萬葉集十八 新增補 追補 編・佐竹昭広・木下正俊・神堀忍・

工藤力男

平成6年12月22日発行 岩波書店 A5判 841頁

校本萬葉集別冊一 廣瀬本萬葉集一 編・廣瀬捨三・佐竹昭広・

木下正俊・神堀忍・工藤力男

平成6年9月8日発行 岩波書店 A5判 668頁

校本萬葉集別冊二 廣瀬本萬葉集二 編・廣瀬捨三・佐竹昭広・

木下正俊・神堀忍・工藤力男

平成6年10月11日発行 岩波書店 A5判 688頁

校本萬葉集別冊三 廣瀬本萬葉集三 編・廣瀬捨三・佐竹昭広・

木下正俊・神堀忍・工藤力男

平成6年11月8日発行 岩波書店 A5判 778頁

\*校本萬葉集一〜十 第二次修訂 平成6年3月8日〜平成7

年4月10日発行

わけても 一首巻附巻の修訂甚し 十増補の修訂それに次ぐ

\*校本萬葉集十一〜十六 新增補 修訂第二刷 平成7年5月

8日〜平成7年10月9日発行

前回の新增補第17冊巻末の補遺をそれぞれの巻に分割補入する

\*校本萬葉集十七 諸本輯影 第三刷新增補 平成7年11月28

日発行

諸本輯影の巻頭カラー図版を修補する。解説も修訂。

巻末の補遺を分割し当該箇所に挿入する。

新編国歌大観第二巻 私撰集編 歌集

昭和59年3月15日発行 角川書店 新編国歌大観編修委員会編

\*「歌集」部の「萬葉集」底本を西本願寺本とし、巻第八から第十三の本文作成および訓を分担。

## 二、論文

元暦校本萬葉集巻第十七、巻第十八の書寫上の異同をめぐって

〔萬葉〕昭和31年4月15日発行 第19号 24頁31頁

異傳発生のある場合―三八九六番歌をめぐって―〔萬葉〕昭和32

年1月20日発行 第22号 56頁58頁 \*副題を編集者脱漏

芭蕉と萬葉―「幻住庵記」の一節をめぐって―〔関大―高等教育〕

昭和32年3月20日発行 創刊号 49頁63頁

歌謡の転用―倭建命葬歌の場合―〔関西大学「国文学」〕昭和34年7

月20日発行 第26号 1頁10頁

古事記歌謡における挽歌的なもの―記紀歌謡における「あはれ」

の語義をめぐって―〔関西大学「国文学」〕昭和35年1月20日発行

第28号 7頁15頁

藤原敦隆と類聚古集〔島田教授古稀記念国文学論集〕昭和35年3

月21日発行 関西大学国文学会 131頁146頁

類聚古集の部類〔萬葉〕昭和36年1月15日発行 第38号 22頁32

頁

古代文学に現はれたる出雲の特殊性―古事記における出雲伝承の長

歌をめぐって―〔関西大学「国文学」〕昭和37年6月20日発行 第

33号 1頁22頁

語部とその遺制―古事記歌謡における「神語」「天語歌」をめぐっ

て―〔関西大学「国文学」〕昭和38年6月20日発行 第34号 1頁

20頁

問人皇后考―中大兄皇子と孝徳帝をめぐる諸問題―〔関西大学「国

文学」〕昭和39年6月20日発行 第36号 1頁14頁

大伯皇女と天津皇子〔萬葉〕昭和40年1月15日発行 第54号 13

頁29頁

孝徳紀御製私解〔萬葉〕昭和40年7月15日発行 第56号 29頁36

頁

家持における長歌―越中守時代を中心に―〔澤瀉博士 喜壽記念 萬葉學論叢〕

昭和41年7月12日発行 澤瀉博士喜壽記念論文集刊行会 213頁253

頁

萬葉終末期における大伴家持と藤原一族(上)〔萬葉〕昭和42年4

月15日発行 第63号 1～17頁)

萬葉終末期における大伴家持と藤原一族(下)〔萬葉〕昭和42年7

月15日発行 第64号 45～56頁)

高田大明神縁起について―付、縁起(二種) 翻刻―(関西大学 共同

隠岐調査会編「隠岐―隠岐文化総合調査報告―」昭和43年3月

31日発行 毎日新聞社 463～504頁) \*吉永登と連名。

宇智の大野―上代語彙「大野」の原義―(関西大学「国文学」昭和

46年7月20日発行 第45号 36～41・44頁)

大伴家持と坂上大娘―その年齢推定の試み―(五味智英・小島憲之

編「萬葉集研究 第二集」昭和48年4月30日発行 塙書房 317～

364頁)

「吉備津采女」と「天數ふ大津の子」―人麻呂作「吉備津采女死時」

歌について―(萬葉)昭和49年2月10日発行 第83号 1～24

頁)

「大船の津守が占」考(関西大学「国文学」昭和49年6月5日発行

第50号 1～15頁)

三山歌の背景(境田教授 上代の文学と言語)昭和49年11月12日

発行 境田教授喜寿記念論文集刊行会 349～366頁)

家持の古代性(国文学―解釈と教材の研究―)昭和50年6月20日

発行 第20巻7号 特集・日本文学史の構想 24～29頁)

家持作「為幸行芳野離宮之時儲作歌」の背景と意義(吉永登先生

代文学論集)昭和50年9月20日発行 関西大学国文学会編発行

87～105頁)

\*関西大学「国文学」(昭和50年9月20日発行 第52号 87～105

頁 吉永登先生古稀記念上代文学特集)に同時掲載。

天平期における防人停止と大伴家持の防人歌記録(関西大学文学

論集)昭和50年11月4日発行 創立90周年記念特輯 第25巻 43

～71頁)

大伴家持(木下正俊・稲岡耕二編「上代の文学(日本文学史I)」

昭和51年3月15日発行 220～227頁) \*有斐閣選書

防人歌(同右 258～262頁)

家持における異境―越中の意味―(国文学―解釈と教材の研究―

昭和51年4月20日発行 第21巻5号 特集・万葉の極北―柿本人

麻呂と大伴家持 159～165頁)

藤原京と香久山(横田健一・網干善教編「講座・飛鳥を考えるI」

昭和51年5月20日発行 創元社 95～128頁)

大伴家持における習作期の創作態度(森脇一夫博士古稀記念論文集

刊行会編「万葉の発想」昭和52年5月10日発行 桜楓社 369～390

頁)

吉備の津の采女挽歌(伊藤博・稲岡耕二編「万葉集を学ぶ(第一集)」

昭和52年12月15日発行 有斐閣 256頁(268頁) \*有斐閣選書

元興寺の鬼(横田健一・網干善教編)「講座・飛鳥を考えるⅡ」昭和

52年12月20日発行 創元社 209頁(229頁)

天武天皇生年考(大阪教育大学「学大國文」)昭和53年2月1日発行

第21号 109頁(114頁)

安積皇子挽歌(伊藤博・稲岡耕二編)「万葉集を学ぶ(第三集)」昭

和53年3月15日発行 有斐閣 143頁(155頁) \*有斐閣選書

「都を遥みいたづらに吹く」(浜田啓介編代表)「論集日本文学・日本

語工上代」昭和53年3月30日発行 角川書店 90頁(101頁)

大伴家持と政変(「国文学」解釈と教材の研究)「昭和53年4月20

日発行 第23巻5号 特集・万葉集の詩と歴史 129頁(134頁)

中大兄皇子の三山歌(横田健一・網干善教編)「講座・飛鳥を考える

Ⅲ」昭和53年12月20日発行 創元社 155頁(184頁)

家持と池主(「万葉集を学ぶ(第八集)」)昭和53年12月25日発行

有斐閣 54頁(69頁) \*有斐閣選書

持統女帝の吉野行幸(横田健一・網干善教編)「講座飛鳥の歴史と文

学①」昭和55年3月20日発行 駿々堂出版 119頁(147頁)

平城京人と明日香(横田健一・網干善教編)「講座飛鳥の歴史と文学

②」昭和56年4月20日発行 駿々堂出版 311頁(340頁)

万葉集―その愛の視点・恋より愛への昇華―(「国文学」解釈と教

材の研究)「昭和56年4月20日発行 第26巻5号 特集・〈愛〉

の古典文学―男と女 82頁(88頁)

持統帝以後の吉野(横田健一・網干善教編)「講座飛鳥の歴史と文学

③」昭和57年8月20日発行 駿々堂出版 37頁(61頁)

有間皇子(「季刊明日香風」)昭和58年8月20日発行 第2巻4号

66頁(71頁)

羽衣伝説―丹後国奈具社縁起伝承の場合―(大阪府高等学校国語研

究会)「新国語研究」昭和59年5月10日発行 第28号 37頁(46頁)

人麻呂と旅―「羈旅歌八首」を中心に―(中西進編)「柿本人麻呂―

人と作品―」平成元年5月10日発行 桜楓社 107頁(135頁)

井上通泰の学問―萬葉集新考を中心に―(「松岡五兄弟―松岡鼎

井上通泰 柳田國男 松岡静雄 松岡映丘)「平成4年10月9日

発行 姫路文学館編発行 79頁(83頁)

廣瀬本萬葉集概要(「文学」)平成6年4月11日発行 第5巻2号

77頁(81頁) \*木下正俊と連名。

国守大伴家持の巡行―天平二十年春の出挙をめぐる―(「国語と

国文学」)平成6年7月1日発行 第71巻7号 1頁(15頁)

広瀬本万葉集あれこれ(国文学研究資料館編)「万葉集の諸問題(古

典講演シリーズI)「平成9年2月20日発行 臨川書店 45頁(76

頁)

萬葉集における「遊」をめぐる一「( )遊」・「遊( )」と「アソブ」・「カル」など一(関西大学「国文学」平成9年3月15日発行 第75号 1-28頁)

### 三、書誌・学界展望

昭和26年度前期単行本雜誌論文抄一、単行本一(「萬葉」昭和26年10月15日発行 創刊号 70-71頁)

萬葉關係著書目録一、單行本(昭和二十六年下半年)・補遺一(「萬葉」昭和27年4月15日発行 第3号 60-60頁)

萬葉關係著書目録一、單行本(昭和二十七年上半年)・補遺一(「萬葉」昭和28年1月15日発行 第6号 65-65頁)

萬葉關係著書目録一、單行本(昭和二十七年下半年)・補遺一(「萬葉」昭和28年4月15日発行 第7号 79-79頁)

萬葉關係著書目録(昭和二十八年上半年)一、單行本(昭和二十八年上半年)・補遺一(「萬葉」昭和28年10月15日発行 第9号 65-66頁)

萬葉關係著書目録一、單行本(昭和二十八年下半年)・補遺一(「萬葉」昭和29年4月15日発行 第11号 50-51頁)

萬葉關係著書目録一、單行本(昭和二十九年上半年)・補遺一(「萬葉」昭和29年10月15日発行 第13号 75-76頁)

萬葉關係著書目録一、單行本(昭和二十九年下半年)・補遺一(「萬葉」昭和30年7月15日発行 第16号 42-44頁)

上代關係著書目録(昭和三十年度)・補遺(昭和二十九年以前)一(「萬葉」昭和31年7月15日発行 第20号 62-67頁)

上代關係著書目録(昭和三十一年度上半年)・補遺(昭和三十年以前)・訂正(「萬葉」昭和32年1月20日発行 第22号 62-68頁)

上代關係著書目録(昭和三十一年度下半年)・補遺(昭和三十年上半年以前)一(「萬葉」昭和32年10月15日発行 第25号 58-61頁)

上代關係著書目録(昭和三十二年度上半年)・補遺(昭和三十一年度以前)一(「萬葉」昭和33年10月15日発行 第29号 56-59頁)

上代關係著書目録(昭和三十二年度下半年)・補遺(昭和三十一年度上半年以前)一(「萬葉」昭和34年7月15日発行 第32号 62-66頁)

上代關係著書目録(昭和三十三年下半年)・補遺(昭和三十三年上半年以前)一(「萬葉」昭和36年1月15日発行 第38号 60-64頁)

上代關係著書目録(昭和三十四年下半年)・補遺(昭和三十四年上半期)一(「萬葉」昭和36年10月15日発行 第41号 52-61頁)

上代關係著書目録(昭和三十四年下半年)・補遺(昭和三十四年上半期)一(「萬葉」第一号から第五十号まで)分類総目録(「萬葉」昭和39年1月25日発行 第50号 61-74頁)

上代〈学界展望〉（『国文学―解釈と鑑賞―』昭和45年3月1日発行 第35巻3号 186〜187頁）

四、資料紹介・解説・解題・事典項目

眞淵草稿本「竹取翁長歌解」について（『萬葉』昭和28年1月15日発行 第6号 58〜61頁）

大伴旅人―生と美学―（『国文学―解釈と教材の研究―』昭和46年12月20日発行 第16巻15号 特集・歌人―その生と美学 50〜51頁）

川原寺と万葉集（『関西大学通信』昭和49年6月10日発行 第48号 3〜3面）

収載歌解説（入江泰吉著『萬葉大和路』昭和49年8月1日発行 保育社 235〜281頁）

東歌（『国民百科事典1』昭和51年10月10日発行 平凡社 107〜107頁）

防人歌（『国民百科事典6』昭和52年7月20日発行 平凡社 66〜67頁）

旋頭歌（『国民百科事典8』昭和52年11月20日発行 平凡社 154〜154頁）

長歌（『国民百科事典9』昭和53年1月20日発行 平凡社 230〜231頁）

反歌（『国民百科事典11』昭和53年5月27日発行 平凡社 262〜262頁）

仏足石歌（『国民百科事典12』昭和53年7月27日発行 平凡社 95〜95頁）

大伴坂上郎女―風雅な生活人―（『国文学―解釈と教材の研究―』昭和54年3月25日発行 第24巻4号 特集・日本女性史 30〜31頁）

笠女郎―幻影の恋に身を焼く―（同右 32〜33頁）

安倍朝臣子祖父 大伴宿禰村上 大伴宿禰百代 大伴安麻呂（大久間喜一郎ほか編『万葉集歌人事典』昭和57年3月20日発行 雄山閣出版 11〜12頁 81〜82頁 89〜91頁）

飛鳥びとの哀歌（『関大』昭和57年8月15日発行 第312号 4〜4面）

飛鳥時代 厚見王 市原王 大伴家持 笠女郎 語部 聖武天皇

旋頭歌 橘諸兄 天平時代 奈良時代 白鳳時代 藤原時代 仏足石歌 大和時代 湯原王（谷山茂ほか編『日本文学史辞典』昭和57年9月20日発行 京都書房 8〜8頁 10〜10頁 32〜32頁 76〜78頁 100〜100頁 105〜105頁 270〜271頁 306〜306頁 338〜338頁 376〜376頁 403〜403頁 429〜429頁 459〜459頁 471〜471頁 550〜550頁

558 558頁)

東歌 防人歌 旋頭歌 長歌 反歌 仏足石歌(『日本文学事典』)

昭和57年9月20日発行 平凡社 5頁 165頁 226頁 226頁

257頁 257頁 319頁 319頁 336頁 336頁)

大津皇子(『日本古典文学大辞典第一卷』)昭和58年10月20日発行

岩波書店 444頁 445頁)

光明皇后(『日本古典文学大辞典第二卷』)昭和59年1月20日発行

岩波書店 521頁 521頁)

称徳天皇 聖武天皇(『日本古典文学大辞典第三卷』)昭和59年4月

20日発行 岩波書店 371頁 371頁 387頁 388頁)

橘奈良麻呂(『日本古典文学大辞典第四卷』)昭和59年7月20日発行

岩波書店 166頁 167頁)

藤原清河 藤原仲麻呂 万葉集摺解 万葉拾穂抄 万葉集略解

(『日本古典文学大辞典第五卷』)昭和59年10月19日発行 岩波書店

273頁 274頁 302頁 302頁 571頁 572頁 576頁 577頁 581頁 582頁)

類聚歌林(『日本古典文学大辞典第六卷』)昭和60年2月20日発行

岩波書店 252頁 253頁)

萬葉地理学の一精華―「大和志考」より「大和志考法」へ―(『萬

葉地理研究論集 5』)昭和61年10月15日発行 秀英書房 5頁

12頁) \*奥野健治著『萬葉地理研究論集5』挿み込み。

いま、井上著作の再評価を(井上通泰上代関係著作集)付録へ與

付ナシ) 3頁 3頁) \*『井上通泰上代関係著作集1』(昭和61年

10月20日発行 秀英書房)

家持(『短歌』)昭和61年12月1日発行 第33卷12号 特集・万葉集

の世界 180頁 185頁)

大津皇子 聖武天皇 橘奈良麻呂 藤原清河 藤原仲麻呂 万葉集

略解 類聚歌林(『日本古典文学大辞典 簡約版』)昭和61年12月

2日発行 岩波書店 245頁 246頁 955頁 955頁 1177頁 1177頁 1573頁 1573頁

1591頁 1592頁 1752頁 1752頁 1937頁 1938頁)

平城京(奈良萬葉)昭和63年2月(日付ナシ)発行 奈良市教育

委員会編集発行 118頁 135頁)

山部赤人(秋山慶ほか編『日本名歌集成』)昭和63年11月30日発行

学燈社 67頁 70頁)

上代における「都市」(『ウォーク万葉』)平成3年4月25日発行

第26号 2頁 2頁)

流伝の萬葉集(『流伝の萬葉集』)第28回展示 展観目録)平成4

年4月6日発行 関西大学図書館 1頁 17頁)

萬葉集研究史における評価の基軸(『関西大学図書館報「籍苑」平成

4年9月30日発行 第35号 2頁 3頁)

珠洲の海に朝開きして漕ぎ出れば長浜の浦に月照りにけり(大伴



家持) 「天皇の御代栄えむと東なる陸奥山に金花咲く」(大伴

家持) (稻岡耕二編「万葉集事典」平成5年8月10日発行 別冊

国文学第46号 学燈社 102頁103頁) \*後日書籍版として刊行。

新出萬葉集写本(広瀬本)について(「ウォーク万葉」平成6年4

月25日発行 第38号 40頁41頁)

廣瀬拾三氏蔵「萬葉集」(廣瀬本)二解題(「おおさか文藝書画展」近

世から近代へ)平成6年9月22日発行 関西大学図書館編発行

148頁151頁)

## 五、書評

北山茂夫著「萬葉の世紀」(関西大学「国文学」昭和28年8月10日

発行 第11号 61頁62頁)

佐竹昭広・木下正俊・小島窓之共著「萬葉集 各句索引」(「萬葉」

昭和42年4月15日発行 第63号 66頁69頁)

吉永登博士著「万葉一通説を疑う」―新しい視座の呈示―(「関大

昭和44年9月15日発行 第170号 4頁4面)

鹿持雅澄の「万葉集名処考」―校友の手で限定復刻なる―(「関大

昭和54年7月15日発行 第278号 4頁4面)

吉永登著「万葉―その探求―」(「関西大学通信」昭和56年6月15

日発行 第111号 8頁8面)

通説への挑戦―吉永登著「万葉―その探求―」(「関大」昭和56

年6月15日発行 第299号 4頁4面)

谷沢永一著「皇室伝統」(「関西大学通信」平成2年7月2日発行

第193号 8頁8面)

片桐洋一著「ものねざし―大阪女子大学学長の四年間―」(「関

西大学通信」平成4年1月10日発行 第205号 8頁8面)

關屋俊彦著「狂言史の基礎的研究」(「関西大学通信」平成6年10

月6日発行 第230号 8頁8面)

浦西和彦編「佐藤春夫(未刊行著作集6)」(「関西大学通信」平

成8年1月12日発行 第241号 7頁7面)

谷沢永一著「人間通の喧嘩教育論」(「関西大学通信」平成9年11

月25日発行 第258号 7頁7面)

## 六、その他

困難を求めよ(卒業生へ)びとこと(「関西大学通信」昭和46年3

月25日発行 第17号 4頁4面)

教育的環境の浄化へ明日の関大をを考える―法人評議員の百字

提言(「関大」昭和58年4月15日発行 第297号 4頁4面)

金子又兵衛先生を偲ぶ(「関西大学通信」昭和62年6月15日発行

第165号 2頁2面)

神仙学士の incoming を待つ（文学研究科・続いま大学院では一現状と將來）〔関西大学通信〕昭和63年7月4日発行 第175号 7〜7（面）

吉永登先生を憶う（関大）平成元年3月15日発行 第384号 2〜

2面）

あとがき（関西大学年史紀要 第7・8合併号〈特集 学園紛争の記録〉）平成2年3月（日付ナシ）発行 関西大学百年史編集委員会専門委員会編（頁付ナシ。奥付の前。全二頁。）

萬葉集の流伝と研究―春季特別展によせて―（関西大学通信）平

成4年4月3日発行 第208号 8〜8面）

夏の終わり（いばらず かざらず きとらず（木村雄二郎追悼集）

平成6年7月1日発行 木村雄二郎追悼集編集委員会編集・発行

（関西大学生協同組合気付）125〜128頁）

日本の文学（はじめの一步―教養・保健体育・外国人留学生科目

への招待―平成10年度）平成10年3月31日発行 関西大学教

養委員会編集発行 12〜12頁）

〈附記〉

右「著作目録」の「四、事典項目」に付加すべきもの。

「日本古典書誌学辞典」（片桐洋一ほか編、平成11年3月発行予定、

岩波書店）において、以下の項目を執筆。すべて「万葉集」の古写本・同断簡・版本・抄出本断簡に係わるものであり、項目名下の（ ）内は当該項目下に言及した断簡・版本・校訂本等である。

○尼崎本○春日本○桂本（梅尾切、安芸切）○桂横切（梅尾類切）

○金沢本○嘉暦伝承本○寛永版本（活字無訓本、活字附訓本、宝

永版本）○紀州本（神田本）○金砂子切○萬葉集抄久世切○元暦

校本（有栖川切、難波切、元暦万葉切）○神宮文庫本（細井貞雄

旧蔵本）○天治本（仁和寺切、檢天治万葉集）○伝壬生隆祐筆本

○西本願寺本（仙覚寛元本、同文永本、古点・次点・新点）○広

瀬本（伝冷泉為頼筆本）○藍紙本

（浦西 和彦編）

〈追記〉

「六、その他」に係わる未確認稿。

三島由紀夫の伊東静雄宅訪問（「果樹園」昭和40年3月 第109号

伊東静雄特輯）

（神堀 忍）